

ヘイトスピーチやバッシングが行われる理由

在日、生活保護受給者、公務員、等々。彼らへの糾弾は、その中の少数の「違反」者を取り出し、まるで全員に問題があるかの如（ごと）く装ってなされる。そこでは、彼らの「特権」（があることになっている）が怨嗟（えんさ）の的となり、やがて、およそ権利というものを主張すること自体が敵視されることになるんだ。こんなヘイトスピーチやバッシングを行う当事者の多くが、実は、**社会的な弱者に分類される人たち**であることはよく知られている。**妬（ねた）ましいのだ。すぐ近く**の誰かが、自分より恵まれている（らしい）のが。

～論壇時評<作家 高橋源一郎>（2013.9.26 朝日新聞）より～